

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスいのもとランドせきとり店・児童発達療育園HAGUMI(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和6年10月20日		令和7年10月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和6年9月13日		令和7年10月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに合わせた適切な支援の提供	職員一人一人が子供の様子をしっかりと見て、毎日気づきを支援後に情報共有している。 子どもたちの細かい変化も共有できるように共有ツールを使用している。	積極的に外部研修、内部研修等に参加し職員の支援力の底上げを目指していきます。
2	子どもや保護者の満足度	安心安全に過ごせる場にするために日々支援にあたっています。保護者の仕事や、家族の都合などの相談を受けて臨機応変に対応しています。子どもたちや保護者の思いによりそう事、信頼関係の構築を大切にしています。幼稚園や保育園とも良好な関係でお互い協力できる関係を作れるよう意識しています。	日々の支援、ニーズにこたえることも大切だが、外部との関係構築、地域交流等考えていけたらと思います。
3	多様なイベント、プログラムの実施	季節に合わせた行事、イベントの企画や午前中には散歩・公園あそび・水遊びを時季に合わせて実施しています。	外出イベント等企画していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレや研修会の情報提供、保護者交流などの家族支援	コロナ感染症の流行の影響にて実施しない状況が続いている。	きょうだい児や家族のイベント参加など検討していきたい。
2	子どもの落ち着ける場所(個室)がないところ	構造的に個室がないため	柵で仕切られたスペースやマットで囲った場をできるようにしているが刺激が多い環境なため刺激もっと少なくできる方法を検討していきたい。
3	階段、トイレなどバリアフリーされていないところ	事業所が2階で階段を使用しなければならないため トイレが大人用のため	階段は手すりを子どもの高さに合わせる、滑り止めを付ける等検討が必要。 トイレは現在補助便座をつけているが足場を広くする、手すりをつける等、検討が必要。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスいのもとランドせきとり店・児童発達療育園 HAGUMI(児童発達支援)

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 2025年10月 1日 24

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2			・広々しています。 ・近くの公園に行くのもいいですが、もう一つフロアでボール遊びなど今の環境、温暖な高い気温の中、室内遊びがのびのびできるスペースがあったらいいな。 ・プールでは屋上を改装して砂場や鬼ごっこができるスペースを考えてもいいのでは。 ・十分なスペースがあると思う	近年の夏の暑さについては事故や体調不良を防止するためにマニュアルに沿って外活動などを行っております。室内は1フロアしかありませんが活動によって切り替えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1	・とても手厚く、安心して子どもを頼ることができます ・日に寄って子どもの数や個性的で手がかかる子どもが多い日もあると思うので全て適切とは言いがたい。	日によって職員を多く配置するなど適切に判断しており、今後も継続してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13		1	1	・下駄箱やトイレなど、分かりやすくなっています。 ・配慮がなされていると思う。	環境についてミーティングで話し合いながら毎年工夫を重ねていっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	1		・外観も中もキレイです。 ・遊ぶ場所と寝る場所が同じ空間で昼寝が中々できないことがあると聞くため	午睡スペースは3人ほどしか寝られないためスペース外に寝ることもありました。環境について話し合い、午睡スペースのベッドを撤去してスペースを広げました。さらに部屋に仕切りを作り、寝る場所、静かに過ごす場所がすぐに分かるようになりました。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2			・子どもに合った活動を考えてくれるので楽しく参加できます。 ・十分な支援の他、子どもの様子をしっかりとつもお世話してくださっている。 ・子どもが今日こんなん、あんなでとても楽しくお話する。 ・こどもの特性に合わせて支援してくれていると思うが月に2~5のデイのため十分理解して行っていないと思う。	毎週の定期的な利用が望ましいのですが、行えない場合、利用の目的として居場所になってほしい。というニーズがあります。期間が空くとどうしても細かく状況変化を追えないため十分な理解が難しい部分があります。現在よりもっと密な連絡や共有が必要かもしれないと感じています。今後検討致します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1	問題ありません。	支援している内容になっています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				定期面談や送時にお話させていただいています。子どものその時の様子も共有し作成してさせていただきます。	面談や送迎時に話を聞いています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1	問題ありません。	本人のアセスメント、面談、園などの話からニーズを把握し、支援目標と内容を設定しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1			計画通りに進めてくださっています。	計画に沿って支援を日々行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				子どもが喜びそうな活動内容です。 毎回楽しかったと言って帰ってきます。 個々に沿ったプログラムを行っているかは分からない	固定化されないように担当制で活動内容を決定しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	3	7	必要と感じていません。 他施設との交流については聞いたことがない	現在交流等行っていません。地域の行事等参加を検討したいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1			事前説明がありました。	実物を見ながらすべての項目について口頭説明を行っています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				毎回丁寧な説明があります。	支援内容の説明を面談時に行っている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1	8	育児に息づまったときはLINEや面談をしてくださるので、必要と感じません。 ペアレントトレーニングはしたことがない	ペアレントトレーニングは行っていません。研修会など基幹支援センターからの情報共有を積極的に行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15				「良いことも悪いことも細かくお話ししてくれます。 こちらの話も丁寧に聞いてくれます。 毎回丁寧に伝えて頂き理解しています。	連絡帳、送迎時、電話、メール等で毎回共有しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1	送迎時、LINE、連絡ノート、等で困ったときはすぐに助けてくれます。	面談を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				どんなことがあっても母や子を責めるようなことは言いません。優しい先生方です。	職員は、親や子どもの気持ちに寄り添って支援を行う、お話をすることが常に出来ています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	2	7	家族も参加できるイベントがあった。 家族向けの支援については分からない。	保護者同士の交流を目的とした機会はまだまだありません。しかし、法人内で音楽コンサートを開催して家族も参加出来るイベントが行われました。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		2	相談・質問など対応はすぐに対応してくださっています。	いつでも気軽に相談してほしいということは契約時に説明をしている。相談内容によって電話、面談など臨機応変に対応しています。	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				相談したことは他の先生にも共有しているか こちらの想い通りなので、安心できます。	電話連絡だけでなく、メッセージなど、忙しい方でも隙間時間に確認したり出来るようにしています。今後も継続していきます。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12			1	毎月おたより、インスタで子どもたちのようすが見られるようになっている	行っています。今後も継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1			他のお子さんの名前は言わないなど徹底されています。	今後も徹底していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13				マニュアルが定期的に更新され配付される。	マニュアルは策定しています。契約時にマニュアルがあること説明し、書面で、どのような活動（訓練）をしているのか、内容について説明をしています。今後も継続していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			2	子どもたちも一緒に訓練をしている。色々な災害を想定している	行っています。今後も継続していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1			ケガがないよう注意し支援して下さっている。	安全計画を作成して内容について配布しています。今後も継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		1	どのような状態が細かく把握している。すぐに連絡をいただきました。	今後も徹底していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				とても重たいだろうに。先生のおひざに座るのが大すきだそうです。ありがとうございます。	安心できる環境を今後も作っていきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				・幼稚園は休んでも良いけど、HAGUMIは休みたくない!です。 ・楽しく通えている。	笑顔で楽しく通えるように日々職員も頑張っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・とても気にかけて一緒に育てて下さっています。本当にありがとうございます! ・とても満足しています。	今後もHAGUMIの職員みんなで、より良い支援を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスいのもとランドせきとり店・児童発達療育園 HAGUMI(児童発達支援)		公表日 2026年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	午睡時の環境整備	適切なスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		構造化の環境について日々検討を行っている。	トイレの手すり、足場等バリアフリー環境にするため改善していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		活動に合わせた空間について日々検討を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	個室はないが、目隠し個別スペースとなる場所を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修に積極的に参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員の意見を積極的に取り入れようとしてくださっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		担当を決めて考えたものを1か月の中で内容に偏りがないように相談して決めている。	会議で全体で話し合う機会を作りたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		同じ取り組みでも新しいアイテムを増やすなどマンネリ化しないようにしている	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		土・祝のイベント時は計画書を作成し事前に確認できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その場にいる職員で積極的に打ち合わせをしている。それをすぐに共有ツールで共有している。全職員と毎回直接の打ち合わせはできていないが共有ツールで共有し子供の細かい変化も共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		共有ツールでの共有や連絡帳にも細かな記載をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		利用開始時に保育園へ訪問して打ち合わせと共有を行っている。その他送迎時に先生と相談共有を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			引継ぎシートを作成し学校と共有できるように保護者の方にお渡ししています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		環境の構造化支援の相談を行い、支援室の見学をさせてもらった。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		現在行っていない。企画を検討したい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	基幹相談支援センターからの講演や研修のお知らせ、交流会のお知らせを行っている。	家族への支援をもっと行っていきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	法人内の全事業所が体育館に集まったイベント開催を行った。家族等参加。	保護者会等が行っていない。検討したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		送迎時に情報共有を行うようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		現在行っていない。企画を検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎月避難訓練を行っている。契約時に重大事故防止マニュアルを策定している事を説明している。職員にもマニュアルの説明を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		策定している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者からの申告により、おやつ提供時席を離す。おやつ持参等対策をしている。利用者のアレルギー情報を職員が見てすぐわかるよう掲示している。おやつ持参や離れて食べる等配慮している。	見学、契約時の面談、保護者に契約時に書類を記入いただいで判断している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月の会議でヒヤリハットの事例共有、検討の項目がある。多い事例や緊急性の高い事例については3名以上で再発防止策を話し合う会議を別途開いている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内で研修は行うが、それとは別に、外部研修に毎年職員を入れ替えて順番に出してもらっている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				